

2021年 名古屋工業会大阪支部総会報告

2021年度の大阪支部総会を、10月2日（土）午後2時から、緊急事態宣言の9月末までの継続で、会場の中央電気倶楽部の使用が前々日まで危ぶまれておりましたが、無事に会場に参集された皆さんとWEB会議での参加の皆さんとのハイブリット形式で開催することが出来ました。このハイブリット形式の開催は、昨年に引き続き2回目の開催ですが、PCやカメラの設営や配線などの現場の設営や、事前のWEB参加者へのWebexミーティングの案内など事前準備に堀口大輔総務委員長はじめ関係者のご苦勞がありました。会場参加の26名に対して、リモート参加者が36名と多数に上り、遠隔地の会員様の参加が目立った事もWeb会議の効用だったようです。

当日は、ご来賓として、河邊伸二学長特別補佐、加川純一理事長、内藤克己常務理事、講演会講師を務めていただいた横山裕行様が会場にご臨席いただき、Webでは高柳誠兵庫支部長のご出席いただきました。

総会は、坂尾健司計測会代表の司会で、岡崎格郎大阪支部長のあいさつで始められましたが、この1年のコロナ禍の活動を顧みて、Webの活用を推進し活動の多様化や活性化をお話され、引き続き、加山純一理事長からは、Web活用により全国の会員の活動参加を促す事や工業会の財政基盤の見直し、学科改組による単科会意識の希薄化の対応等の話があり、卒業生連携室長を兼務されている河邊伸二学長特別補佐からは、コロナ対応の為に在学学生支援金の寄付の謝礼や、各学科や単科会、学部、修士や教職員の壁を越えた、「全学同窓会」の推進方針等のご挨拶を頂戴いたしました。

次に議事の審議に移り、2021年度の活動実績と22年度の活動計画が川越英二副支部長から、同じく21年度の会計報告、22年度予算案が、井上修一委員長から報告され、21年度の監査報告が奥村茂樹監事より報告され、すべて承認されました。井上財務委員長がご退任されることとなり、後任としてA59の小山明様に依嘱されました。最後に内藤常務理事や高柳兵庫支部長のご挨拶を頂戴し、ご両名様から「大阪支部のWeb活用などで活動が抜きんできている」などと賞賛の言葉をいただきました。

この後、暫時休憩を入れて、「ダイハツのモノづくり、コトづくり～お客様に寄り添い、暮らしを豊かに～」の演題で、トヨタ整備学園理事長・元ダイハツ工業副社長の横山裕行（K49）氏に講演していただきました。この講演会は昨年の開催予定でしたが、コロナで開催中止の為、今年ようやく開催出来た講演会でしたので、皆さん興味深く聞き入っておられました。

その後、会員交流会にて、会場・Web参加の方々に活発な発言をいただき、閉会いたしました。

記：西岡 裕（B50）



【会場・中央電気倶楽部】



【岡崎支部長(右)・川越副支部長(左)】



【Web参加者】



【横山氏ご講演】